

6 3 6 1 - 1 0 1 8
平成23年7月27日

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

病害虫防除情報第8号

茶の炭疽病の発生状況についてとりまとめましたのでお知らせします。
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

**県内各地で、茶の炭疽病が多くなっています。
適期防除に努めてください。**

1 作物名 茶

2 病害虫名 炭疽病

3 発生状況（経過）

- 1) 本年は梅雨時期の降雨量が多く、本病の侵入に好適な条件が続いていた。
- 2) 7月の巡回調査における炭疽病の発生は、発生面積率が76.5%（平成53.5%）で平成比やや多、m²当たり発病葉数12.6葉（平成4.8葉）で平成比多である。
- 3) 向こう1か月の気温は、平成並の確率40%、降水量は平成並または多い確率ともに40%と予想されており、本病の発生に好適な気象条件である。（1か月予報 鹿児島地方气象台 7月22日発表）

4 防除上の注意

- 1) 本病は開葉して間もない柔らかい新葉に感染するので、三番茶摘採後の新芽の生育期が薬剤散布の適期である。
- 2) 秋期の発生は秋芽の充実を損ない、次年度一番茶の親葉に対する被害が大きいうえ、伝染源になるため徹底した防除が必要である。
- 3) 本病は潜伏期間が約20日であるため、発病葉が見つかったからでは防除は困難である。防除は秋芽の萌芽～1葉期に予防効果のある剤を散布し、その後、2～3葉期に治療効果のある剤を散布する。
- 4) 品種により、本病への抵抗性に差があるため注意する。

5 その他

その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場茶業支場、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

6月1日から8月31日は、農薬危被害防止運動月間です。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危被害防止に努めましょう。

《連絡先》宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 壹岐
TEL : 0985-73-6670 Fax : 0985-73-2127
ホームページ : <http://www.jpnp.ne.jp/miyazaki>
E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp